

# 令和7年度 事業報告書

(自) 令和7年4月1日 (至) 令和8年3月31日

## 1. 法人の概要

主たる法人の所在地 太田市藤阿久町83番地3	電話番号 0276-32-1461	代表者氏名 理事長 金田 克次
法人認可年月日 昭和44年8月28日	法人認可番号 厚生省 第527号	法人登記年月日 昭和44年9月13日

## 2. 法人の行う事業

事業の種類	施設種別	名称	定員	
第1種	障害者支援施設 (施設入所支援事業) (生活介護事業)	とうもうさわの寮	57 60	
		第2種	生活介護事業 障害児通所支援事業(児童発達支援センター) 共同生活援助事業	かなやま学園 70 ひまわり学園 30 地域生活援助センターかなやま青年寮 41 (わが家) (10) (もみじ) (5) (ふじあぐホーム) (6) (細谷ホーム) (5) (ひじりがわホーム) (4) (大木荘) (4) (かめおかホーム) (7)
社 会 福 祉 事 業	共同生活援助事業	地域生活援助センターはあぶ	44	
		(みなみホーム)	(4)	
		(うしざわホーム)	(5)	
		(さくらハイツ)	(7)	
		(新島ハイツ)	(9)	
		(西新町ハイツ)	(7)	
		(ゆらハイツ)	(7)	
		(むーぶ)	(5)	
		知的障害者短期入所事業(併設型)	とうもうさわの寮	3
		移動支援事業	ねこのてや	
生活介護事業・放課後等デイサービス事業 ・児童発達支援事業	ぽかぽか	5		
一般相談支援事業・特定相談支援事業 障害児相談支援事業・特定相談支援事業	太田松翠会相談支援事業所 あおぞら			
公益事業	サービスステーション事業	ねこのてや	6	
	日中一時支援事業	とうもうさわの寮	3	
	福祉有償運送事業	はあぶ、ねこのてや		

### 3. 役員等の状況

役員等	定員	現員
理事	6～7名	6名
監事	2名	2名
評議員	8～10名	9名

### 4. 法令遵守の体制

法令遵守責任者 総合施設長 小川 和男

### 5. 統括会計責任者、会計責任者及び出納職員

統括会計責任者 総合施設長 小川 和男

拠点区分名	会計責任者	出納職員
本部	谷口 友和	小沢 愛加
かなやま学園	小川 和男	堀越 志保美
ひまわり学園	茂木 普照	中嶋 好子
とうもうさわの寮	高橋 正俊	齋藤 尚美
相談支援事業所	高橋 正俊	齋藤 尚美
かなやま青年寮	齋藤 清貴	丸山 美由紀
ねこのてや	谷口 友和	小沢 愛加

### 6. 決算の状況

#### [本部拠点区分]

総収入済額	総支出済額	当期資金収支差額合計
3,206,559円	3,152,774円	53,785円

#### ※1 総収入済額のうち

拠点区分間繰入金収入 (かなやま学園、ひまわり学園、とうもうさわの寮、かなやま青年寮より) 3,000,000円

#### ※2 総支出済額のうち

拠点区分間繰入金支出 (とうもうさわの寮へ)

7,994円

#### ※3 積立資産の状況

施設・設備整備積立資産支出

500,000円

#### 事業活動収支の状況

事業活動収入額	事業活動支出額	事業活動収支差額
206,559円	2,644,780円	△2,438,221円

#### [法人全体]

総収入済額	総支出済額	当期資金収支差額合計
895,717,603円	881,851,378円	13,866,225円

※1 積立資産の状況	297,308,803円
(人件費積立資産)	79,699,620円)
(修繕費積立資産)	46,950,000円)
(備品等購入積立資産)	19,984,283円)
(施設・設備整備積立資産)	150,674,900円)
※2 当期末支払資金残高(繰越金)	265,031,896円

事業活動収支の状況

事業活動収入額	事業活動支出額	事業活動収支差額
876,891,918円	830,234,349円	46,657,569円

7. 加入している損害保険等

- 業務災害総合保険ハイパー任意労災 (A I U保険)
- 会社役員賠償責任保険 (あいおいニッセイ同和損害保険)

8. 法人主催の研修の状況

◎入職者新人職員等研修

令和8年3月25日(水)

[新任職員として働くための基本テキストに沿って、これから必要なこと]

社会人としての心得、報告・連絡・相談、虐待防止、ハラスメントについて等 2名参加

◎新任職員等研修

令和7年11月12日(水)

[施設の現状から今後新人職員に望むこと]

社会人としての意識付け、キャリアパス、組織とは等 6名参加

◎中堅職員等研修

令和7年12月10日(水)

[法人の現状から今後中堅職員に望むこと]

リーダーシップ、フォローシップ、法人の施設及び事業所について、

「生産性向上のための業務改善マニュアル」より法人の理念等 8名参加

9. 委員会活動の状況

◎虐待防止委員会

令和8年 2月13日(金)

[今年度の振り返り、施設での取り組みや整備の確認・報告、虐待に関するワーク]

◎リスクマネジメント委員会

令和8年 3月12日(木)

[今年度の報告・課題について、法人定義の確認、情報交換等]

10. 求人活動等の状況

- ◎マイナビ、職員紹介会社、ハローワークや福祉人材バンクへの登録、学校訪問

## 令和 7 年度 事業報告書

事業所名 指定生活介護事業所 かなやま学園 定員 70 名 (現員 65 名)

### 1. 決算の状況

サービス区分名	総収入済額	総支出済額	当期資金収支差額合計	備考
かなやま学園	172,328,503 円	168,760,683 円	3,567,820 円	

#### ※総収入済額のうち

人件費積立資産取崩収入	8,749,000 円
備品等購入積立資産取崩収入	813,000 円
移行時特別積立資産取崩収入	741,471 円

#### ※総支出済額のうち

拠点区分間繰入金支出	750,000 円
------------	-----------

#### 事業活動資金収支

サービス区分名	事業活動収入	事業活動支出	事業活動収支差額合計	備考
かなやま学園	160,302,747 円	165,468,523 円	△5,105,776 円	

### 2. 主な修繕の実施状況

内 容	期 日	金 額
園庭舗装部給水管漏水修理	令和 7 年 4 月 30 日	167,000 円
アコーディオンカーテン交換(防炎加工)	令和 7 年 6 月 7 日	246,000 円
厨房ガステーブル修理代	令和 7 年 6 月 30 日	177,650 円

※R8.6 消防立入検査実施(3年に1回) 非常灯 1 か所交換

### 3. 固定資産物品等の購入状況

物 品 名	取得年月日	金 額
D 班(個室) エアコン取付け	令和 7 年 6 月 7 日	213,000 円
C 班(クッキー製造室) エアコン交換	令和 7 年 6 月 29 日	959,000 円
厨房 冷蔵庫交換(故障)	令和 7 年 10 月 13 日	660,000 円

#### 4. 車輛の保有状況

車種	台数	備考
マイクロバス	3台 → 2台	1台売却(7/下旬) → 送迎利用: 2台 内1台(リース)
普通乗用車・ワゴン車	4台	内3台(リース) 送迎利用: 3台
軽自動車	2台	事務用、作業用: 各1台

※売却理由: 利用者減によりマイクロバス2台でも活動および送迎に支障がないため。

#### 5. 損害保険の加入状況

内容	取引先
自動車保険	あいおいニッセイ同和損保 おかべ保険センター
介護保険・社会福祉事業者総合保険	〃
火災保険	損害保険ジャパン日本興亜(株) スバルファイナンス 太田市農業協同組合

#### 6. 職員の状況 [31名]

職種	人員基準数	現員数	常勤換算	備考
管理者(施設長)	1	1	1	
サービス管理責任者	2	2	2	
生活支援員	13.4	19	17.2	パート職員(5)、内フルタイム(2)
事務員		4		正規職員(1)、パート職員(2) 障害者雇用(1) R7.6~
看護師	1	1	1	准看護師資格
栄養士		2	2	管理栄養士(2)、内1名育休中
調理員		2		

#### 7. 利用者の状況

・定員数: 70名

区分	延べ利用者数	営業日数	平均利用者数	月始登録人数
令和7年 4月	1,386名	22日	63名	70名
5月	1,301名	21日	62名	70名
6月	1,317名	21日	63名	70名
7月	1,434名	23日	63名	69名
8月	1,150名	19日	61名	68名
9月	1,344名	22日	62名	67名
10月	1,352名	23日	59名	66名
11月	1,147名	19日	61名	67名
12月	1,212名	20日	61名	67名
令和8年 1月	948名	17日	56名	67名
2月	1,090名	20日	55名	67名

3月	1,209名	21日	58名	65名
合計	14,890名	251日	-	-
年間平均	1240.8名	-	60.3名	71.9名

\*介護保険サービスの事業所を併用利用（4名）全てグループホーム利用者  
（学園利用は週1日から3日）今後も併用から移行のケースもあり得る。

\*グループホーム利用：法人内（12名）

法人外（6名）〔ソーシャルインクルーシブホーム太田富沢町・イノベル太田・ファミリー太田木崎〕

→ R7年度：3名が利用契約を結ぶ（ファミリー太田木崎）

・障害支援区分

支援区分	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	0	0名	13名	18名	11名	42名
女性	0	3名	10名	5名	5名	23名
計	0	3名	23名	23名	16名	65名

※平均支援区：4.8

## 8. 施設運営等実施状況

### ①施設運営

・利用者状況について

21歳から76歳までの方が利用中。〔全体平均年齢42.9歳〕

男性：42名（平均年齢40.19歳） 女性：23名（平均年齢45.78歳）

・入退所関係

入 所	グループホーム（法人内）より	1名
退 所	入所施設移行（とうもうさわの寮）	3名
	他事業所	1名
	在宅	1名
	死去	1名

・職員体制について

\*退職者 0名

\*入職者 3名 正規職員（新卒者）大卒：1名・短大卒：1名

非常勤：障害者雇用：1名

\*令和7年度は主任不在、副主任2名を新たに配置してサービス管理責任者と共に支援および学園全体を取りまとめてもらう体制をとる。

4名が各々の職務を理解し、うまく連携したことで支援全体が機能的に動けた。

・苦情解決について

事案なし。

・危機管理について

「事故報告」 「ヒヤリハット報告」

	転倒・転落		加害行為		破損・紛失		投棄ミス		訪問忘れ		連絡確認ミス		交通事故		その他	
	イ	事	イ	事	イ	事	イ	事	イ	事	イ	事	イ	事	イ	事
男性	5	7	1	8		1									2	6
女性	2	2													1	2
職員	・	・	・	・	・	・	2			2		8		1		1
計	7	9	1	8		1	2			2		8			3	9

※インシデント：「…する恐れがある」その前に予測し止めることができた。

※ 事故報告：37件      インシデント報告：13件      合計 50件  
 (利用者：17件)      (利用者：8件)      (25件)

②利用者支援

・ 日中活動等

\*5つの作業室を編成し生活介護事業に基づいた活動を提供

作業室名	利用者数	職員数	主な活動内容
A 班	16 名	4 名	請負作業 (マキタ→ <u>内職市場</u> に変更) 委託作業 ( <u>太田市</u> ：お寺のトイレ清掃) その他 (学園の車両の洗車) 自主生産 (手作り石鹸) 資源回収 (新聞、ダンボール、アルミ缶等)
B 班	14 名	4 名	自主生産 (反物作り、織製品作り等) 活 動 (リハビリ体操、足湯、創作、音楽等)
C 班	12 名	3 名	自主生産 (クッキー作り) 活 動 (ウォーキング・レクの活動等)
D 班	9 名	4 名	活 動 (教材、パズル、ウォーキング、音楽 ドライブ、創作活動等)
E 班	11 名	4 名	活 動 (教材、パズル、ウォーキング、音楽 ドライブ、創作活動等)

※ 待矢場太田広域協定運営委員会より四ヶ村用水路遊歩道清掃業務を委託

※ 利用者減を受けて作業室数を減らし、1作業室の職員数を増やす。

※ 「作業室」という名称を「班」に変更する。

\* 店舗販売は通常通りであるが、施設・事業所関係のイベントは依然としてない状況。

店舗販売 (常設)	① スワンペーカー      ② ブレイス (スーパーマーケット) ③ 道の駅 おおた      ④ 城西の杜 JA 直売所
イベント販売	* 近隣施設のお祭り等の開催なし 県及び福祉協会関係の行事等への参加は見合わせ (前橋)

	※太田市役所ロビーにて行う「ぐんぐん」は状況を考慮して参加 ※太田特別支援学校「すだち祭」に参加
--	---

○ 生産活動の収入総額：2,210,898 円 →

委託費	太田市	：384,000 円
	遊歩道清掃	：235,600 円

支出総額： 965,752 円

\*収支残額：1,245,146 円 (毎月の工賃および年度末の賞与にて分配)

・**作業外活動**

① 祝日登園日の活動他

各班ごとに企画を考えて実施する。

[学園内外：創作活動、音楽活動、おやつ作り、外食、初詣など]

② 各種活動

	利用者参加延べ人数	職員参加延べ人数
3B 体操 (年間 11 回予定)： 8 回実施 *講師 (音村先生)	85 名	18 名
入浴支援 (希望者名) *「ねこのてや」の浴室を利用	137 名	47 名

\* 参加人数を調整しての実施。

③ プール活動

\*C 班の企画として「群馬ふれあいスポーツセンター」にて活動を実施する。

・7/17(木)、31(木) 両日ともに 10 名を超える利用者が参加

④ 主な行事

- ・ かなやま祭り 10/18(土) 11 時～14 時 天気にも恵まれ、多数の方々に来場していただく。
- ・ グループ旅行 8/29(金) グループ旅行 (ガトーフェスタハラダ見学・グリーン牧場)
- 9/5(金) " (那須どうぶつ王国)
- 9/12(金) " (群馬サファリ・自然史博物館)
- 9/19(金) 親子旅行 (大洗水族館・さか天パーク)
- ・ 年末行事 太田市社会福祉協議会、保護者会より補助をいただき、各班で企画を相談し  
実行している。(主に外食を中心に企画)
- ・ 初詣、花見、外出などは通常通りに実施する。

・**健康管理**

項 目	回 数(年)	担当医等
身体測定	3 回	身長・体重および血圧測定 (4・8・12 月)
精神科検診	1 回	三枚橋病院 [例年 2 回] (7・12 月)
内科検診	2 回	中野医院 [例年 2 回] (5・10 月)

歯科検診	1回	太田新田歯科医師会	(5月)
血液検査	1回	中野医院	(9月)
レントゲン検診	1回	群馬県健康づくり財団	(10月)
検尿	1回	〃	(10月)
検便	1回	〃	(クッキー従事者は年4回)
インフルエンザ予防接種	1回	中野医院〔希望者：利用者および職員〕	(11月)

- \* 毎月1回、保健給食会議を開催し、給食面からも利用者の健康について考える。
- \* アンケートまたは直接ご家族と相談の上対応。(減塩、油抜き、きざみ食、少食等)
- \* 服薬調査 (年2回：4・10月)

○「感染症」対応状況 (令和7年4月～令和8年3月末)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染等状況 : ・ 新型コロナ  1/28～30 (3日間) 休園措置  感染 利用者：18名 職員：3名 合計 21名</li> <li>・ インフルエンザ  感染 利用者：4名 職員：0名 合計 4名</li> </ul>
--

\* 今回の新型コロナ：症状は比較的穏やかだったが、感染力が強く送迎車内での感染が拡がりの要因となってしまった。次年度は対策をしっかりと取っていきたい。

・ **実習生関係**

\* 大学・短大、看護学校の実習、特別支援学校および高等特別支援学校の職場実習

- ・ 高等特別支援学校生 (太田：2名、渡良瀬：1名、あさひ：1名)
- ・ 保育実習 (育英短大生 : 1名)
- ・ 東群馬看護専門学校生 (週2～3日 1日あたり2～3名 : 60人)

・ **防災関係**

\* 避難訓練(火災・地震)を定期的を実施

- 火災避難訓練 (11月) 通常の避難訓練と同時に放送設備の点検実施
- (3月) 消防署員立ち合いの総合訓練および新任職員の消火訓練
- 地震訓練 (9月) 今年度は実施できず。次年度に計画予定

\* 消防立入検査 (R7.6.12) 3年に1回 → 2か所の不備あり。(改善報告提出済み)

\* 防災備品および備蓄品の確認、整理、購入

→ 定期購入 (飲料水、アルファ米、缶詰、レトルト食品) 消費期限確認

\* 非常用電源装置の起動方法を全員に周知

→ 毎月1回、全職員が交代で起動手順の確認作業を実施

\* 防災会議 (随時) の実施

\* 災害用伝言ダイヤルの練習 (職員対象：学園 ⇄ 送迎車間による伝達訓練実施)

※ 事業継続計画 (BCP) の研修 (概要説明等) および訓練 (各自担当の確認、もしもの時にどのような対応をするか? 考えられるか? 各担当内で動き・連絡・連携を確認)

・防犯関係

\*太田警察生活安全課より講師派遣「防犯講話・実地訓練」を計画

→ 今年度は中止、次年度は太田警察署に相談する予定

\*防犯マニュアルの周知

→ 職員会議にてマニュアルの確認（不審者が来園した時の「合言葉」確認など）  
部分的な訂正をあらためて確認する。（さすまたの保管場所等）

・職員研修関係

\*新型コロナの収束にともない、外部での研修を積極的に取り入れ他の施設および事業所の職員との研修の中で得た刺激をフィードバックしてもらうことを目的に実施する。

（正規の生活支援員は全員、何らかの研修に参加することを目標として取り組む）

研修名	人数	主催
① 強度行動障害支援者養成研修	4名	群馬県
② 人権倫理委員会主催研修	4名	県福祉協会
③ 日中活動支援部会	5名	県福祉協会
④ 発達障害者支援者養成研修	1名	群馬県
⑤ 障害者虐待防止・権利擁護研修	1名	群馬県
⑥ 発達障害支援力アップ研修会	1名	群馬県
⑦ 成人生活・支援スタッフ部会研修	1名	県福祉協会
⑧ サービス管理責任者部会研修	2名	県福祉協会
⑨ 法人内（新任・中堅職員）研修	4名	法人内部研修
⑩ 夏季特別研修会	2名	県福祉協会

※ 参加した研修については「研修復命書」を作成し、会議等の時間を利用して職員にフィードバックしている。

※ 今後も外部研修を積極的に取り入れ、他事業所の支援や活動を知ることにより自事業所との比較・考察、そして何よりも外部研修を通して感じる刺激を大切に、職員一人ひとりが支援に活力を見出せる環境を提供していく。

## 令和7年度 事業報告

施設名 ひまわり学園 施設種別 児童発達支援センター 定員 30人

施設名 ぽかぽか 施設種別 多機能事業所 定員 5人

### 1. 決算の状況

(単位:円)

総収入済額	総支出済額	事業活動資金収支差額	当期資金収支差額
139,675,198	138,802,513	4,838,885	872,685

2. 主な修繕の実施状況 特になし

3. 固定資産物品等の購入状況  
ダイハツアトレー (スロープ車) 924,660円  
見守りカメラ (ぽかぽか) 297,000円

4. 車両の保有状況  
マイクロバス 1台  
普通乗用車 4台  
(ひまわり学園送迎用 2台)  
(ぽかぽかりフト付き 2台)  
軽自動車 2台

### 5. 損害保険の加入状況

自動車保険 (あいおいニッセン同和損害保険・おかべ保険センター)

火災保険 (あいおいニッセン同和保険・おかべ保険センター)

施設賠償責任保険 (介護保険・社会福祉事業総合保険・おかべ保険センター)

6. 職員の状況

ひまわり学園

職種別	定数	現員	備考
管理者	1	1	兼務
児童発達支援 管理責任者	1	1	
児童指導員	8	2	
生活支援員		10	
看護師		1	
運転手		2	
医師		1	委託
計	10	18	

ぽかぽか

職種別	定数	現員	備考
管理者	1	1	兼務
サービス管理 責任者	1	1	
児童指導員兼 生活支援員	1	2	
看護師	1	1	
運転手		1	
理学療法士		1	委託
医師		1	委託
計	4	8	

7. 利用者の状況

ひまわり学園

	延人数	開催日	平均
4月	507	19	26.6
5月	569	21	27.09
6月	568	21	27
7月	613	23	26.65
8月	465	19	24.47
9月	529	21	25.19
10月	586	22	26.63
11月	439	19	23.1
12月	534	20	26.7
1月	559	20	27.95
2月	493	19	25.94
3月	604	22	27.45
計	6466	246	26.23

ぽかぽか

	延人数	開催日	平均
4月	81	21	3.86
5月	95	21	4.52
6月	97	21	4.61
7月	99	23	4.3
8月	88	19	4.55
9月	94	21	4.48
10月	103	22	4.68
11月	78	20	3.9
12月	83	21	3.95
1月	76	20	3.8
2月	63	19	3.3
3月	88	22	4
計	1045	250	4.16

## 支援状況

### ◎ひまわり学園

#### 1) クラス別療育

単独通園4クラス 30名定員 令和8年3月時 30名 在籍

令和7年 4月 31名でスタート  
 6月 1名地域の保育園へ転園のため 30名になる  
 6月 1名入園 31名になる  
 8月 1名家庭の事情で退園 30名になる  
 10月 1名入園 31名になる(1歳児・在園児の弟・4月から前橋に転居)  
 3月 1名入所 30名になる(わたらせ養護園)

#### 利用児の年齢の状況

5歳児・・・5名      4歳児・・・6名      3歳児・・・9名  
 2歳児・・・9名      1歳児・・・1名      (3/28時点)

3月末に就学が5名、保育園に5名入園、転居のため2名 計12名が卒園した。

### ■療育実績数

内容	回数(年)	備考
運動プログラム	各クラス月3回	遊戯室を使用。クラス内でのミニ活動で行なう。
制作	各クラス月2回	
音楽活動	各クラス月3回	
山登り	各クラス週1回	基本毎週金曜日実施(熊目撃情報により年度途中で中止)
キッズピクス	全体月1回	全園児対象(3グループ制。ダンス講師に依頼)
園外活動	各クラス随時	公園、買い物、フードコートへの外食
散歩	各クラス随時	
感覚遊び	各クラス随時	
料理	各クラス随時	
音楽療法	すみれ組中心 どれみチーム 月2回	音楽療法士に依頼
アヒルクラブ	各クラス月1回	言語発達を促す課題
ミニ活動	各クラス毎日(午後)	
親子プログラム	1人につき年3回	全園児に対し年3回、担任が行なう
交流保育	年4回	

### ■家庭支援実績

内容	回数(年)	備考	
家庭訪問	1	6月に実施	新入園児対象
療育参加	3	各クラスで計画(8月・2月)	

個別面談	2	(新入園児5月) 9月・3月	
療育説明会	1	4月(新入園児保護者対象)	ひまわり学園職員
就学説明会	1	9月 就学の流れについて	太田市教育委員会 指導主事
保護者学習会	1	11月「摂食について」	山川 治先生 (歯学博士)
学校見学	随時	教育委員会を通して随時行なう 太特・・・6月・9月 学校公開日	
幼稚園・保育園 移行に向けて	随時	サポートシートの作成 保育園に出向き、引継ぎ 幼稚園や保育園の先生が来園し、 引継ぎ	担任・児発管

## 2) 親子通園教室(さくらんぼクラブ)

- ① どれみチーム(未歩行や0歳児)・・・年23回 延べ利用人数31人(登録9名)
- ② ありんこチーム(2歳児)・・・年20回 延べ利用人数43人(登録5名)
- ③ どんぐりチーム(1歳児)・・・年20回 延べ利用人数34人(登録10名)

※前年度のさくらんぼクラブ利用児がひまわり学園の入園につながったため、ありんこチームもどんぐりチームも登録が1人からのスタートとなった。その後ありんこチームは5名登録中4名が入園につながった。

また、どんぐりチームは1歳半健診後や転居などで一時期登録人数が増えたが、年度の途中から児童発達支援事業所の利用につながるケースが多く、11月～3月は利用児1名ということが続いてしまった。

**※延べ利用人数が昨年度より半分の人数になった**

※さくらんぼクラブを利用していたお子さんの内1名はR7年度の途中入園につながった

※さくらんぼクラブを利用していたお子さんの内4名はR8年度の入園につながった

## 3) 交流保育

太田市の認定こども園こまどりの年長児クラスとの交流保育を年4回行なった。

1回目・・・ひまわり学園にて各クラスに分かれ活動

2回目・・・認定こども園こまどりの園庭にて、しっぽ取りゲームなどを行なう

3回目・・・認定こども園こまどりにて室内でリトミック

4回目・・・ひまわり学園内にて各クラスに分かれ活動を行なう

※熊目撃の情報を受け、今年度はやまのぼりの交流保育をひまわり学園内に変更した

## 4) つぼみの部屋

県より委託されている事業。保育園・幼稚園に通っているお子さんで、発達や集団参加に心配のあるお子さんを対象に行う活動。

※つぼみの部屋を利用していたお子さんの内4名はR8年度のひまわり学園入園につながる。  
参加者数実績 23名

5) 大泉町の親子教室（あそびの教室）

1歳6か月健診後のフォローとして、発達が気になるお子さんを保健師と情報を共有しプログラムを立て、実施した。 年12回

6) <主な行事>

- 6月 親子遠足（かなやま学園のバスを借り、華蔵寺公園へ）
- 7月 年長児お泊り保育（イオン内で外食体験、買い物体験、シャワー浴、シアターなど）
- 8月 夏祭りイベント（暑さ対策のため遊戯室内で開催）
- 10月 運動会（待ち時間の関係で2クラスずつ時間差で開催）
- 1月 ひまわり祭（遊戯室の広さの関係で2クラスずつ時間差で開催）
- 3月 お別れイベント（卒園児のみ足利キッズピア、外食体験、午後は全園児で遊戯室にておやつバイキングを行なった）

7) 職員研修

内部研修

正規職員8名による研究発表

外部研修

児童生活部会	年4回	落合
TEACCH研修	7月 5日	吉田・津久井
日本年金機構研修会	8月22日	中嶋
全国施設長会議	7月10・11日	茂木
ペアトレ研修	9月2日	大館
医療的ケア児等に支援者養成研修	9月26日	森
ポーター研修	10月11・12日	七崎
発達協会セミナー	10月26日	高橋・萩本
医療的ケア児等支援に係る研修	11月10日	渡邊
全国知的障害者福祉関係職員研究大会	11月27・28日	茂木
意思決定支援と虐待防止に関する研修	12月13・14日	茂木

8) 苦情解決

9件ありました（職員の接遇に対して7件・状況提供について1件・その他1件）

9) 危機管理

・事故報告

転倒	加害行為	自傷行為	転落	連絡確認ミス	その他	計
12	9	1	6	3	21	52

・インシデント

加害行為	物を投げる	その他	計
0	0	0	0

## ◎ぽかぽか

### 1) 日中活動

日々の療育活動は個別支援計画を基に一人一人にあった支援を心がけ五感で感じる取り組みを行っています。

余暇活動としてはガチャガチャを体験しました。スタッフと一緒にハンドルを回しながら何が出てくるかわからないワクワクな楽しみを体験できたと思います。また、畑活動は地域の方に野菜の植え方を教えていただき育成・収穫をし、収穫した季節の食材は調理活動で色々なものを作り、出来立てを食べたり家族へのおみやげにしたりと楽しみました。

ボランティアは移動図書館の利用をはじめ、楽器演奏や人形劇など複数のボランティアの方々が協力してくれました。

太田市スポレクのバザーに参加し、畑の道具や制作の材料を購入し日々の活動の充実にあてています。

### 2) 保護者参加の親子教室 6回

4月11日	(保護者総会)
7月5日	(流しそうめん大会)
9月20日	(運動会)
11月1日	(遠足 こどもの国)
12月20日	(クリスマス会)
2月21日	(お母さん人形劇)
3月14日	(ありがとうの会)

### 3) 季節ごとの行事

4月	イースター	ボウリング	10月	さつま芋料理	ハロウィン
5月	魚釣りゲーム	ヨモギ料理	11月	読み聞かせ	楽器 散歩
6月	ガチャガチャ体験	収穫体験	12月	うどん作り	運動
7月	かき氷	スノーズレン	1月	書初め	カルタ
8月	買い物ゲーム	楽器 読み合わせ	2月	節分	バレンタイン
9月	制作	運動	3月	運動	ホワイトデー

### 4) 理学療法の実施

月2回(ひまわり理学療法士1名) 13時~14時30分

月2回(外部理学療法士1名) 10時~12時

利用者の体の曲げ伸ばしやストレッチをして頂いています。スタッフや家族からの質問に答えて頂き、車いす・身体に合ったクッションを作る時の相談や窓口にもなっております。

### 5) 音楽療法の実施

月2回 10時30分~11時30分

ドレミ(株)による、音楽療法プログラムに沿って、運動機能の向上や感覚刺激、楽器操作、歌等、多彩な内容により利用者の心と身体に働きかけ、音楽の楽しさと他者との交流により、見る事、聞く事、動く事を学んでいます。

6) 医療的ケアの実施

経鼻注入	胃瘻・腸瘻	気管切開	吸引	酸素管理	投薬
3名	4名	3名	8名	0名	6名

令和6年度の医療的ケアが必要な利用者は6名です。(与薬含まず)

医療的ケアは医師の指示書を年度初めと医療的ケアが変わるごとに提出して頂き、マニュアルに記入し全員が理解し同じ事が出来る様にしています。又薬はお薬手帳(処方箋・お薬の内容)を提出して頂いて、どの様な薬を飲んでいるのか把握しています。体調の変化に気づく様に観察し、親またはDrに報告する様にしています。

※太田記念病院 堀Dr 定期来園 4回 時間13時~15時  
7月15日 10月16日 12月25日 3月17日

利用者全員の3か月間の状態(栄養・薬・体重・生活の様子)の報告とスタッフ・家族からの質問・相談等又最近の流行の病気について、利用者の疾患等の知識を教えています。

7) 入退院

	病院名	日数	入院回数
Aさん	太田記念病院	67日	6回
	自治医大病院	104日	1回
Bさん	イムス病院	35日	1回
Cさん	東邦病院	27日	1回
Dさん	太田記念病院	1日	1回
	小児医療病院	69日	4回

8) 職員研修

園内研修

太田記念病院 堀Drによる園内勉強会	7月 4日	スタッフ全員
歯科医山川Drによる摂食指導	11月27日	久保田
中堅職員研修	12月10日	原田

外部研修

摂食嚥下障害看護研修	5月13日	深澤
歯科医山川Drによる摂食合同勉強会	10月21日	久保田

9) 苦情解決の状況 0件

#### 10) 事故並びヒヤリハットの状況

事故	ヒヤリハット	合計
5件	1件	6件

##### 〈ヒヤリハット〉

- ・ ベットに柵をつけないまま、その場を離れてしまい、他職員が発見し柵を付ける。

##### 〈事故〉

- ・ 送迎順番間違え
- ・ 自宅玄関にてスロープより脱輪。利用者へのけがは無し。
- ・ 利用者自身でカニニューレを抜いてしまう。すぐに気づき対処。
- ・ 衣類の着脱の際に利用者自身の手が左まぶたにあたり赤くなってしまう。
- ・ 2週続けて右腰部に引っかけた様な跡があると母より話がある。原因は不明だが体位交換時に職員によりつけてしまったことが予想される。

# 令和 7 年度事業報告

事業所名 障害者支援施設 とうもうさわの寮 定員 57 名

## 1. 決算の状況

とうもうさわの寮（施設入所支援事業、生活介護事業）

総収入済額	総支出済額	当期資金収支差額合計	備考
307,035,949	268,795,637	38,240,312	

拠点区分間繰入金支出（本部へ） 750,000 円  
（相談支援へ） 1,984,016 円 計 2,734,016 円

日中一時支援事業（太田市・大泉町・板倉町・みどり市）

総収入済額	総支出済額	当期資金収支差額合計	備考
63,320	63,320	0	

## 2. 主な修繕の実施状況

内 容	期 日	金 額
男性浴室内アルミ引き戸工事	4月30日	200,000
厨房冷蔵庫修理	7月31日	105,490
非常灯修繕費（18台）	9月10日	1,210,000
2階仕切り壁修理	1月31日	99,000
1階両開き仕切り工事	2月28日	170,000
緊急用屋上渡り通路工事	3月31日	305,000

## 3. 固定資産物品等の取得状況

固定資産（器具及び備品等）	取得年月日	金 額
車輛（アトレー）	6月5日	1,365,040
ノートパソコン（3台）	8月18日	1,138,500

4. 職員の状況 (令和7年3月31日現在)

職 種 別	基準人員	現 員	常勤換算	備 考
管 理 者 (施設長)	1	1	1	サービス管理責任者兼務
主 任		1	1	サービス管理責任者兼務
生 活 支 援 員	22.3	27	25.7	
事 務 員		2	2	
栄 養 士	1	1	1	管理栄養士 業務委託
厨 房				
医 師		(1)	0.1	嘱託医 (定期検診・服薬に関する 相談)
看 護 師	1	1	1	正看護師
その他 補助員		2	1.25	
地域支援		1	1	太田市障がい者相談支援センター (相談支援専門員)
計		36 (1)	34.05	

5. 施設入所利用者の状況

区分	定員	在籍者数	利用者入退所状況	
			退所者	入所者
令和7年 4月	57	54	0	1
5	//	54	0	0
6	//	55	0	1
7	//	//	0	0
8	//	56	0	1
9	//	54	2	0
10	//	//	1	1
11	//	53	1	0
12	//	//	0	0
令和8年 1月	//	//	0	0
2	//	//	0	0
3	//	53	0	0
計	684名	647名	4名	4名

令和7年3月31日現在の障害支援区分別在籍者数

区分3…1名 区分4…7名 区分5…22名 区分6…23名

計53名

障害支援区分平均5.26

6. 生活介護事業利用者の状況

区分	定員	在籍者	退所者	入所者
----	----	-----	-----	-----

令和7年	4月	60	55	0	1
	5	//	54	0	0
	6	//	55	0	1
	7	//	//	0	0
	8	//	56	0	1
	9	//	54	2	0
	10	//	//	1	1
	11	//	53	1	0
	12	//	//	0	0
令和8年	1月	//	//	0	0
	2	//	//	0	0
	3	//	53	0	0
計		720名	648名	4名	4名

障害支援区分別在籍者数(3月末)

生活介護(通所者+入所者の日中活動支援)

区分 4…7名            3…1名  
5…22名  
6…23名  
計53名

#### 7. 短期入所利用状況(延べ利用日数)

市町村名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
太田市	5	10	10	10	19	40	9	33	5	3	5	13	162
大泉町	6	4	4	6	2	6	6	0	4	2	6	10	56
板倉町													
計	11	14	14	16	21	46	15	33	9	5	11	23	218

#### 8. 日中一時支援事業は、太田市・大泉町・板倉町と事業契約。

市町村名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
太田市	0	2	3	6	4	7	4	0	2	3	2	3	36
板倉町													
大泉町													
みどり市													
計	0	2	3	6	4	7	4	0	2	3	2	3	36

#### 9. 施設運営

1. 施設入所定員57名 現員53名(令和8年3月31日現在)

退所者	令和7年度の退所者4名
男性（62歳）	令和7年9月11日入院中の鶴ヶ谷病院から、邑楽病院の療養病棟へ転院。退所。
女性（81歳）	令和7年8月3日太田記念病院入院。（腸閉塞）8月15日高木病院の療養病棟へ転院。10月12日死亡。（肺炎）
女性（68歳）	令和6年9月5日高木病院入院。嚥下機能低下により長期の入院となる。令和7年9月5日死亡。（敗血症）
男性（49歳）	令和7年11月24日、太田記念病院にて死亡。（クモ膜下出血）
入所者	令和7年度の入所者4名
女性（53歳）	令和7年4月20日 待機順により入所。
男性（54歳）	令和7年6月 1日 待機順により入所。
男性（42歳）	令和7年8月 1日 待機順により入所。（かなやま学園利用者）
男性（58歳）	令和7年10月1日 待機順により入所。（かなやま学園利用者）

## II. 職員体制

- ・新卒者の採用活動は継続して実施。新卒採用はマイナビと契約し、担当職員を中心となり法人説明会やWEB面接を実施。（男性新卒者1名、かなやま学園にて採用）
- ・令和7年4月から新卒採用1名（女性）と人事異動2名（男性、女性）を加え、6月からは育休明け職員が復帰。2名が正規職員から非常勤職員へ変更。
- ・12月から洗濯清掃業務1名を障害者雇用。
- ・令和7年度は男性支援員2名がパパ育休取得。
- ・施設入所支援（定員57名）の基準が19名のところ、23名を配置している
- ・生活介護（定員60名）の職員配置基準が20名  
基準以上の人員配置をしており、今後も維持していく。（日勤専門が現在2名）

## III. 施設整備

- ・感染症対策として、ゾーニングと導線確保のため、1F廊下を仕切ることができる扉、2Fベランダの通路工事を行う。
- ・新たに入所する利用者受け入れ環境整備のため、居室の壁や戸等の整備を行う。
- ・消防点検不良箇所があり、令和6年度から順次改修。

## IV. 苦情解決について

- ・特に文書による回答及び公表・掲示を求められる事案はなかった。

## V. 利用者処遇

- ・前年度から引き続き、利用者の皆さんから好評を得ているイベントは継続。
- ・余暇や外出にて、施設外へも出かける。皆様のニーズに応じた、個別や少人数での余

暇活動（温泉に行く、カラオケに行く、少し遠くにでかける等々）を徐々に再開。

・令和7年度は、ウォーキングや施設内での活動、外部講師を招いての音楽療法により、身体を動かす機会を増やしております。また、新たに看護師主導による、「口腔ケア体操」も実施。

令和7年度の主な行事（実施したイベント）			
5月	足湯・スタンプラリー	7月	七夕まつり
8月	夏祭り・花火	10月	ハロウィン
11月	映画イベント	12月	クリスマス会
1月	正月イベント	2月	節分

日中活動内容 作業活動  創作活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・袋詰め作業・ボールペンの組み立ては機能維持の作業として継続。レク活動・ドライブ等の施設外活動。</li> <li>・寮内活動として、体操・ウォーキング・ミュージックケア・ビデオ鑑賞等。</li> <li>・音楽療法。（月1回）</li> </ul>
クラブ活動	・ワンゲル・カラオケ・音楽・創作
外出支援 (外食・買い物等)	・施設外へも外出。外食や必要な物の購入。
理美容	・みやの理容所、移動美容室「彩」が出張実施。月一回のペースで実施。
健康管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養マネジメントは管理栄養士、看護師、サービス管理責任者、施設長で実施。口腔ケア体操。</li> <li>・体重、血圧、血液検査、X線検査、通院による各検査実施。</li> <li>・柔道整復師（鍼灸師）によるマッサージを高年齢者や運動機能が低下している方を中心に平均月2回4～6名実施。（実費負担）</li> <li>・訪問歯科（長谷川歯科）実施。</li> </ul>

#### 10. 損害保険加入状況（あいおいニッセイ同和損保 代理店（有）おかべ保険センター）

介護保険・社会福祉事業総合保険施設・自動車保険(法人内フリート契約)  
火災保険（地震保険含む）事業活動総合保険

#### 11. 危機管理

・ヒヤリハット、事故報告等の記録整備を実施、予防対策を立てるためリスクマネジメント委員会を継続。職員ひとり一人のリスクについての取り組みは根付いているが、事故防止に更なる努力を要する。

## 1.2. 事故・インシデントの内容と件数 (※別表参照)

※事故とインシデントの傾向と防止策について

<傾向と対策>

提出された事故報告から、転倒、加害、薬、の順での事故が多い。この3つの事故分類はここ数年変わらず、大きな課題でもある。

・転倒事故は男性、女性共に機能低下や高齢化の影響から多くなっている。利用者ひとり一人の変化やリスクの高い利用者の把握、日中活動等で体を動かすことで、対策を図っている。

・加害行為についての対応の難しいケースは、各会議にて支援方法の見直しを図り、個別対応の工夫等を行っている。

・薬の事故は、一度口内に入った薬が落薬するケースが多く、顔・名前から口内の確認まで一連の流れをチェックしているが、依然として発生。基本的な「確認する」ということについて、繰り返し取り組みが必要。

## 1.3. 研修

主に以下の研修を実施。

- ・強度行動障害研修。(令和7年度ほぼ全ての支援員が研修受講)
- ・感染症、リスクマネジメント、虐待防止についての内外部研修または勉強会。

## 1.4. 感染対策の実施

- ・基本的な感染対策実施。
- ・感染マニュアル等の見直しや、必要な物品購入し備蓄。
- ・地域の感染状況を見ながら、面会や帰省を再開中。
- ・インフルエンザワクチン接種の実施。(11月)
- ・感染対策委員会の設置とBCPに基づく訓練や感染対策研修の実施。

※令和7年4月に新型コロナウイルス、11月と2月にインフルエンザが蔓延し、利用者のほぼ全員が感染する。

※感染対策として、施設内を整備する。

## 1.5. 災害時の準備

- ・備蓄品の点検(消費期限等)と補充を実施。
- ・BCPに基づく消火訓練や避難訓練の実施。
- ・消防設備業者の定期点検実施。
- ・給食委託業者が施設内に3日分495食分は確保。

・緊急時のマニュアルを作成、利用者状況についても、毎月開催の保健給食会議に参加し、情報共有をしている。（給食委託業者との連携）

#### 16. 防犯対策

- ・防犯委員会による防犯マニュアルの作成と見直し。
- ・防犯訓練の実施。
- ・防犯システムセコムとの連携による、防犯カメラ等の日常警備継続。

※令和8年4月、深夜帯に施設門扉前にて盗難自転車の乗り捨て者あり。（防犯カメラで確認）警察へ連絡。翌日、所持者が受け取りに来る。対策として門扉付近にセンサーライトを追加設置する。

#### 17. 車両の保有状況

車種	台数	備考
マイクロバス	1	トヨタコースター
ワゴン車	1	ハイエース
貨物車	1	ハイゼット（軽バン）
軽乗用車	7	タント・①アトレー（ｽｰﾌﾞ車2台） ムーブ（事務用）・タント ミライース（相談支援センター） ミニカ・スペーシア（相談支援）

①アトレー・・・古くなり不調のAZワゴンと入れ替え。医務用の車輛として令和7年6月購入。

(別表)

12.事故・インシデントの内容と件数

令和6年度と令和7年度の比較

年度	性別	内容	転倒	転落	誤薬等	異食	加害行為	連絡確認	誤嚥	無断外出	破損・紛失	忘れ物	設備不良	自傷行為	不明その他	総計		
令和6	男性	事故	19	2	12	4	19	0	2	5	1	0	1	0	8	6	79	
		インシデント	27	12	5	1	6	1	1	4	2	1	0	0	0	0	6	66
	女性	事故	24	4	15	3	21	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	72
		インシデント	9	9	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	23
令和7	男性	事故	20	1	14	9	37	0	1	4	0	0	0	0	1	14	5	106
		インシデント	18	10	4	5	5	0	1	2	0	0	0	0	0	0	1	46
	女性	事故	28	2	10	0	29	0	1	0	0	0	0	0	0	3	3	76
		インシデント	2	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	12
		内容	転倒	転落	誤薬等	異食	加害行為	連絡確認	誤嚥	無断外出	破損・紛失	忘れ物	設備不良	自傷行為	不明その他	総計		

【過去3年間のデータ】

令和5年度	事故件数	計227件	インシデント合計	126件
令和6年度	事故件数	計151件	インシデント合計	89件
令和7年度	事故件数	計182件	インシデント合計	58件

# 令和7年度事業報告

事業所名 障害者相談支援事業 太田松翠会相談支援事業所

## 1. 決算の状況

太田松翠会相談支援事業所

総収入済額	総支出済額	当期資金収支差額合計	備考
9,073,491	8,898,549	174,942	

令和7年度 計画相談及びモニタリングの件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画相談	12	10	7	10	16	13	14	17	14	18	7	17	155
モニタリング	45	42	43	15	13	12	27	31	37	39	43	38	385
合計	57	52	50	25	29	25	41	48	51	57	50	55	540

## 2. 職員体制（令和7年3月31日現在）

管理者 1名（とうもうさわの寮 施設長兼務）  
相談支援専門員 1名（常勤）  
相談支援専門員 1名（支援員兼務）  
相談支援専門員 1名（非常勤）

## 3. 運営等実施状況

・太田松翠会相談支援事業所は、利用者・保護者から話を聞き、サービス利用について適切な助言や計画を作成し、各事業所に対しては計画が実行されているか、変更が必要かどうかを利用者・保護者を交えて検討し、より充実した支援サービスにするためのサポートをいたします。この事業は福祉サービス利用に関しての計画相談を主に、障がい者の生活全般の相談を受け、適切なアドバイスをする事、特に専門的な知識を要する問題については、専門機関や専門家につなげることを目指し、保護者・ご本人と共に問題解決に向けて支援しています。

・令和7年度は相談員2名でスタートしたが、途中で相談員1名が3か月ほどの病休。復帰後は負担軽減のため、正規職員から非常勤職員へと身分変更。そのため、10月から職員1名を配置（はあぶ兼務）し、3名体制にてリスタートする。

・太田松翠会相談支援事業所は、利用者・保護者から話を聞き、サービス利用について適切な助言や計画を作成し、各事業所に対しては計画が実行されているか、変更が必要かどうかを利用者・保護者を交えて検討し、より充実した支援サービスにするためのサポートをいたします。この事業は福祉サービス利用に関しての計画相談を主に、障がい者の生活全般の相談を受け、適切なアドバイスをする事、特に専門的な知識を要する問題については、専門機関や専門家につなげることを目指し、保護者・ご本人と共に問題解決に向けて支援しています。

# 令和7年度 事業報告書

事業所名 地域生活援助センターかなやま青年寮 種別 共同生活援助 定員 41名  
 事業所名 地域生活援助センターはあふ 種別 共同生活援助 定員 44名

## 1. 決算の状況

サービス区分名	総収入済額	総支出済額	当期資金収支差額	事業活動資金収支差額
かなやま青年寮	137,679,517 円	137,375,105 円	304,412 円	4,060,126 円
はあふ	116,087,556 円	112,369,552 円	3,718,004 円	6,649,572 円
福祉有償運送	519,240 円	445,000 円	74,240 円	74,240 円
合計	254,286,313 円	250,189,657 円	4,096,656 円	10,783,938 円

当期末支払資金残高

70,639,733 円

### 総収入済額のうち

(かなやま青年寮)

設備資金借入金元金償還補助金収入 1,176,000 円  
 積立資産取崩収入(人件費、修繕費) 1,220,000 円

(はあふ)

積立資産取崩収入(人件費) 650,000 円

### 総支出額のうち

(かなやま青年寮)

設備資金借入金元金償還支出 2,352,000 円  
 固定資産取得支出(車両運搬具) 533,500 円  
 拠点区分間繰入金支出(本部へ) 750,000 円  
 積立資産支出(退職給付、人件費、修繕費、施設・設備整備) 2,507,024 円

(はあふ)

積立資産支出(退職給付、人件費、修繕費、備品等購入他) 3,581,568 円

## 2. 主な修繕の実施状況

通路誘導灯修理(青年寮) 57,200 円  
 ホームアンテナ工事(ひじりがわホーム) 56,320 円  
 火災通報装置交換工事(かめおかホーム) 173,580 円  
 ベランダ手すり取替補修(みなみホーム) 79,000 円  
 事務所拡大改善工事(青年寮) 745,000 円  
 エアコンクリーニング(かめおか食堂・廊下) 80,850 円

火災通報装置（むーぶ・西新町ハイツ）	275,000円
アンテナ線分配工事（わが家）	66,770円
LED証明工事（青年寮事務所）	193,600円
トイレ便器タンク取替工事（みなみホーム）	77,000円
埋込型エアコン修理（かめおかホーム）	204,974円
トイレロータンク取付工事（ゆらハイツ）	70,000円
避難口誘導灯・通路誘導灯修理（新島ハイツ）	106,700円

### 3. 固定資産物品等の購入状況

中古車両（三菱 ek スペース）	533,500円
------------------	----------

### 4. 車両の保有状況 普通乗用車4台、軽自動車7台、貨物車1台

※普通乗用車1台を廃車

### 5. 損害保険加入状況

自動車保険：東京海上日動火災保険株式会社（アルファール保険サポート）

火災保険：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社（おかべ保険センター）

施設賠償責任保険：あいおいニッセイ同和損害保険株式会社（おかべ保険センター）

借家人賠償保険：三井住友海上保険（ASJ総合サービス）

### 6. 職員状況

#### 地域生活援助センターかなやま青年寮

職種	配置基準	現員数	常勤換算	備考
サービス管理責任者	30:1	2	1.5	
生活支援員	5.5	12	6.6	常勤換算は夜間支援員含む
世話人	6.4	28	8.9	常勤換算は夜間支援員含む
夜間支援員		14		世話人兼務 7カ所のホームに配置
看護師		2		生活支援員と兼務 はあぶと兼務
事務員		1		生活支援員・世話人と兼務

#### 地域生活援助センターはあぶ

職種	配置基準	現員数	常勤換算	備考
サービス管理責任者	30:1	2	1.5	
生活支援員	3.8	9	6.0	世話人と兼務
世話人	7.3	27	8.8	常勤換算は生活支援員・夜間支援員含む
夜間支援員		5		世話人と兼務 2カ所のホームに配置
看護師		2		
事務員		1		世話人と兼務

7. 利用者の状況

地域生活援助センターかなやま青年寮

定員41名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延べ利用者数	1,121	1,220	1,180	1,208	1,178	1,170
稼働率(%)	98.5	96.0	96.0	95.0	92.7	95.1
入退所等					1名退所	

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	1,206	1,186	1,197	1,182	1,095	1,239	14,272
稼働率(%)	94.9	96.4	94.2	93.0	95.4	97.5	95.4
入退所等		1名入所 1名退所			1名入所	1名退所	2名入所 3名退所

新規利用者内訳

1	家庭より・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1名
2	法人内グループホームより・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1名

退所者内訳

1	入院・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1名
2	高齢者施設へ移行・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2名

地域生活援助センターはあぶ

定員44名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延べ利用者数	1,309	1,319	1,284	1,340	1,340	1,316
稼働率(%)	99.2	96.7	97.3	98.2	98.2	99.7
入退所等						

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用者数	1,360	1,312	1,335	1,317	1,146	1,262	15,640
稼働率(%)	99.7	99.4	97.9	96.6	93.0	92.5	97.4
入退所等					1名退所		1名退所

新規利用者内訳

1	なし	
---	----	--

退所者内訳

1	法人内グループホームより・・・・・・・・・・・・・・・・	1名
---	------------------------------	----

## 8. 施設運営等実施状況

### 施設運営

#### 1. 就労支援

- ・職場開拓と職場定着支援
- ・就労不安定者の通勤付き添い支援
- ・通勤手段のない方の送迎支援

#### 2. 職員研修・会議

- ・3カ月に1回のかなやま青年寮・はあぷ全職員による職員会議
- ・月2回のかなやま青年寮・はあぷに分かれての個別支援会議
- ・各ホーム4ヶ月に1回程度の世話人等会議
- ・月1回の管理者・副管理者・主任等による運営会議
- ・各個別支援会議内にて職員持ちまわりによる勉強会を開催
- ・毎日の標語読み上げ
- ・3カ月に1回程度の感染対策委員会及び研修会
- ・災害・感染時の業務継続計画（BCP）の研修及び訓練（各2回）
- ・4月22日、世話人等辞令交付式・研修会を実施

#### 「虐待防止及び身体拘束適正化勉強会」

生活支援員を対象として、虐待防止及び身体拘束適正化委員が中心となり、全従業者を対象に3回に分けて研修会を実施。

第1回 8月2日13:30～

第2回 8月2日17:00～

第3回 9月16日10:00～

#### ・外部研修会への参加

全国知的障害者福祉協会 全国施設長会議

全国知的障害者福祉協会 関東ブロック大会

群馬県知的障害者福祉協会 GH分科会（リモート参加）

群馬県 人権倫理委員会研修会

群馬県 障害者虐待防止・権利擁護研修

群馬県 サービス管理責任者研修（更新・基礎・実践等）

群馬県 安全運転管理者講習

太田市 地域生活支援部会

太田市 発達障害研修

福祉有償運送運転者講習

強度行動障害支援者養成研修 基礎・実践

群馬県地域生活定着支援研修会

夏季特別研修会

せぼね・股関節・ひざの健康講座

3. 防災・防犯体制について

- ・火災を想定した避難・通報・消火訓練 2回 (各ホーム)
- ・水害を想定した訓練 (うしぎわホーム・かめおかホーム・みなみホーム)
- ・防犯カメラ 15台 (11ホーム)

4. 苦情解決の状況

(青年寮)

- ・なし

(はあぷ)

- ・職員の接遇について 2件

5. 事故等の報告

(青年寮)

インシデント 7件

- ・転倒 3件
- ・連絡・確認ミス 2件
- ・破損・紛失 1件
- ・交通事故 1件

事故 9件

- ・交通事故 2件
- ・投薬ミス 4件
- ・破損・紛失 1件
- ・転倒 2件

(はあぷ)

インシデント 3件

- ・投薬ミス 3件

事故 12件

- ・投薬ミス 6件
- ・交通事故 1件
- ・破損 2件
- ・転倒 2件

6. 健康管理

- ・健康診断：6月 (はあぷ利用者・職員対象)

9月 (青年寮利用者対象)

12月 (青年寮職員対象)

※夜間支援員は年二回の検診

- ・健康診断は診察日時、順番を管理し、密にならないよう注意し行いました。
- ・10月～11月、インフルエンザの予防接種を行いました。

7. 寄付の状況

現金の寄付 2件 合計 100,000円

利用者行事	<p>1. 地域との交流行事等</p> <p>10月 太田市スポレク祭 ゴミ収集などのボランティアに参加 スバルマラソンに3名が参加</p> <p>11月 高林3町合同祭りへ参加 利用者1名が作品提供 足利尊氏マラソンに3名が参加</p> <p>12月 連合群馬・労福協 ボウリング大会に26名が参加</p> <p>1月 東京福祉大学 ムーブメント教育・療育講座に利用者1名が参加</p> <p>「地域連携推進会議」 事業所の福祉サービスの質の向上や透明性の確保、理解の促進、関係づくり等を目的に、地域の方をお招きし見学会や会議を実施。 (参加者…利用者、ご家族、地域の関係者、福祉に知見のある方、経営に知見のある方、市役所職員など)</p> <p>○見学会 11月9日10:00～ かなやま青年寮とはあぶに分かれ、それぞれ7ホームを見学</p> <p>○会議 11月30日10:00～ かなやま青年寮とはあぶ合同で実施。</p> <p>2. 施設行事</p> <p>全体行事は中止し、少人数またはいくつかのグループに分け活動を提供。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外でのジョギングサークルに3名の利用者が参加。</li> <li>・ホーム単位や小グループによる外食や外出、一泊旅行などを提供。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日帰り旅行（宇都宮）</li> <li>・一泊旅行（千葉・鴨川方面）</li> <li>・一泊旅行（水上）</li> <li>・夏祭り（かなやま青年寮にて）</li> <li>・ハロウィン祭り（かめおかホームにて）</li> <li>・自治会みらい（自治会役員会）</li> </ul> </li> </ul> <p>など</p>
-------	---

## 事業運営の状況（令和7年度）

事業所名 生活支援センターねこのてや

### 1. 決算の状況

サービス区分名	総収入済額	総支出済額	当期資金収支 差額合計	備考
生活支援センター ねこのてや	14,269,264 円	13,679,649 円	589,615 円	

※ 総支出済額のうち

人件費積立資産支出 1,200,000 円

備品等購入積立資産支出 51,583 円

サービス区分名	事業活動収入	事業活動支出	事業活動収支 差額	備考
生活支援センター ねこのてや	14,178,283 円	12,045,418 円	2,132,865 円	

### 2. 主な修繕の実施状況

特になし

### 3. 固定資産物品等の購入状況

令和7年10月3日取得 ノートパソコン2台 金額 185,900 円／台

### 4. 車輛の保有状況

軽自動車 1台（リース）

### 5. 損害保険の加入状況

自動車保険

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社(有)おかべ保険センター

火災保険

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社(有)おかべ保険センター

施設賠償責任保険

介護保険・社会福祉事業者総合保険

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社(有)おかべ保険センター

### 6. 職員の状況

職種	人員基準数	現員数	備考
センター長	1名	1名	

## 7. 利用者の状況

営業日数…24時間・365日・年中無休  
市町村別利用状況、利用人数は別紙に記載

## 8. 施設運営等実施状況

### ①施設運営

#### ・運営状況について

日中一時支援事業(サービスステーション事業)を8市町村(太田市・大泉町・邑楽町・明和町・板倉町・伊勢崎市・みどり市・桐生市)と委託契約を結びましたが、実際に利用があった市町村は太田市・大泉町・邑楽町の3つでした。

土日などの休日に家で過ごすことが大変、保護者のレスパイトが必要、シングルマザーのご家庭などの理由が必要としていただける声は多く、地域の最後の受け皿として可能な限りニーズに答えてきました。また今年度もセンター長1名を軸に非常勤職員(パート・アルバイトスタッフ)メインの人員配置でした。年度の途中でパート契約職員1名が自己都合により退職いたしました。職員不足によるトラブルのようなものもなく、昨年度以上の実績をあげることができました。今後も安全に安定した経営を行っていきたいと思っております。

福祉有償運送サービスは、ステーション事業を利用するために送迎が必要な利用者さんのために便宜上引き続き行っていますが、正職員スタッフが1名という理由で、引き続き緊急時のみの対応とさせていただきました。結果、ご利用はございませんでした。

移動支援事業の利用も0件でした。

- ・苦情解決の状況 特になし
- ・事故報告(ヒヤリハットを含む) 特になし

### ②利用者支援

就学前の幼児や発達障害の方など多様なニーズに対し十分に答えられるようサポート前のスタッフ間での情報交換・確認を徹底し、利用者本人・保護者のニーズをその都度聞き取り、答えられるようサポートに当たっています。